

瓢箪の特徴

瓢箪は開花後、2か月くらいで保存可能な木のような硬い皮の実に熟します。1年生植物で、このように硬い皮になる植物は他にないと言われていています。

瓢箪には大小、丸みを帯びたいろいろな形があります。そして、くびれがある種類が沢山あります。

昔、くびれがある8字型の瓢箪は非常に珍しく、貴重なものとして織田信長や豊臣秀吉が腰に瓢箪を下げたと言われています。

今では、この8字型の瓢箪の種を植えるのが主流になっています。

